



# ネコラム

# 2



えがわやよい by

夢ちか 文庫



## ももちゃん

---

### 猫だって丸くなる

それは、一緒に暮らし始めて13年目になる「もも」のことです。かつてボディも丸くなりましたが、今は、性格が丸くなりました。飼い主も「歳を重ねるごとにお人柄が良くなるね～」と言われるようになりたいものです。猫に学べ！  
？



### ここが好き！

夏、暑い日が続くとエアコンの温度も低くなりがち。でも、猫たちの快適温度は人間よりもちょっと高めなのかも。「もも」は家の中で、寒すぎず暑すぎないここがお好きみたいです。マダムとは思えない姿ですが（笑）。



## ピピちゃん

---

見た目がおトク！

つやつやな毛皮が彼女のご自慢です。と、飼い主は思っているのですが、全然ご自慢するタイプではないし「ワタシはワタシだもんね〜」というキャラの「ピピ」です。でも、ぼ〜っと寛いでいる姿が、なんとなく品があるように見えるのは、黒猫だから？飼い主ばかだから？



ワタシだってごろんが好き

猫の可愛らしさは、例えどんなに美猫でも、中味は超天然というあたりかな？と思います。「ピピ」も、寛ぐ姿はちょっとイイ感じに見えますが、ごろんとしたくなったら、所構わずこの調子です。「ピピたん、お腹が冷えますよ〜」と言ったところで、「ナンカ、イッタ？」という感じ。

近くで観ている「もも」は、「まあね、私もああだから・・・」と思っているかな。



## ロビン

---

### ボクは可愛いよ

と、自分で思っているに違いない！と思われる「ロビン」です。ロビンが愛嬌を振りまくことは、皆無と言っても良いほどで、恐らくそれは、飼い主とほとんどの人間レディが彼を「イイ男ね～」と、ウツトリ目線を送ってしまうからです。



### 猫だからねえ

「ロビン」がはまっているのは、食卓テーブルの上でうっかり置きっぱなしにしてしまった、飼い主の帽子です。上向きにおいてしまったので、確かにはまりたくなるだろうなと思うのです。猫だから仕方ないよね・・・ということで、飽きるまでそのままに（笑）。



# プリン

---

## 凛々しいレディ

貫禄たっぷり！と言ってはあんまりなので「ふくよかプリン」です。気が強そうに見えるのは、きりっとした顔のせいだということで。お座りするとまるで正三角形ですが、特に病気もなくすくすく育っています。避妊して太ちゃった・・・。



## プリン語が分からない

「プリン」はどの猫よりも沢山話しかけてきます。「お腹空いたよ～」とか「ご飯もっと～！」とかの他に、意味不明の「みゃ～」もしょっちゅうで、飼い主はどのように対応して良いのか分からず、困った時の抱っこ作戦を展開するのですが、勝率は5割。ご飯と抱っこ以外の「みゃ～」って、ナンダロウ。



## ウィルくん

---

### お仕事手伝う？

「ウィル」は仕事机の上と書類が大好きです。猫の手が借りたい時はありますが、キーボードを打てるとは思えないので、残念。「でもさ、猫でも出来ることナンカナイノ？」という顔でじ〜っと見つめられると、何だか申し訳ない気分になってしまいます。



### ご飯カップ

ある時、ご飯の器を足付きのモノに替えたくくなりました。首をそれほど下げなくても食べられる方がラク何じゃないかと思ったのです。「ウィル君、どんな感じですか？」と聞いてみたら「忙しいから話しかけないで！」と言われてしまいました。



## かなめ

---

### たまにはね

生まれた時から家猫の「かなめ」は、人間が大好きで、でれでれの甘えっ子です。ベビーフェイスは何歳になってもそのまま、超三枚目のアイドル。でも、たまにはイケメン表情になることがあるのね。



### 寝相が悪いのは

元気な証拠？と言いますが、「かなめ」の寝相の悪さは天下一品。猫タワーのキングズベンチからはみ出て眠るのが大得意です。そっと近づいて、寝姿を眺めるのは、結構楽しいものです。



## てまり嬢

---

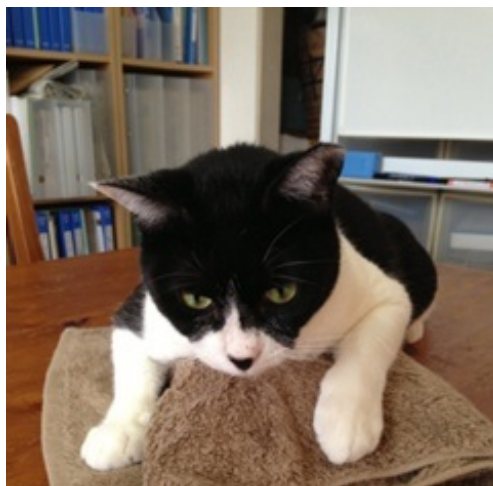
すねてるわけじゃないよ～

外猫として大人になった「てまり」ですが、家猫になっても全然平気でした。いつの間にか。食卓テーブルでまあるくなって眠るにゃんこになっていました。「最近、ノンアルコールなの？」とか、飼い主には言っちゃってるし（笑）。



あげない！

熱帯夜に使ったアイスノンを、食卓テーブルの上に置いていたら「てまり」に取られてしまいました。タオルの触り心地がよいのかしらん？「コレは私のだよ～あげないからね。」と、キツチリ言われたような気分です。





## キリコさん

---

### なんでツーショットなの？

ひとりだけケージ暮らしの「キリコ」ですが、「まあ、いいよ」と思ってくれていると良いな・・・と思う飼い主です。彼女は「てまり」のママという話を聞いていました。初冬のある日連れてきてしまったのですが、エイズキャリアだったので、ここからは出られません。ごめんね（泣）。どうしてロビンが付き添っているのかなあ？



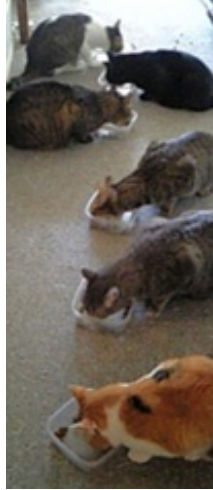
### ご飯、待ってるんだけど

「キリコ」は私の事が大嫌いで、触ると叱られます。持病の口内炎が痛くなるとさらに機嫌が悪くなるので、飼い主は彼女の口内炎が酷くならない方法を見つけ出すのに一生懸命なのですが、どうなることやら・・・。どんなに叱られても、こうやってご飯を待ってくれると「今日は食べられるんだ。良かった！」とホッとするのでした。



## ほぼ全員集合

---



いつの間にか猫チームのメンバーが8頭になりました。この写真はまだ6頭だった頃ですが、集合しているとすごい数です。それが今は8頭なので、もっとすごい事になっているわけですが、猫にも人間にも、快適な暮らしを求めて行けたら良いと思っています。心身ともにね！

猫たちは全員マイペースですし、基本静かで、トイレのしつけにもそれほど苦労しない生き物なので、一緒に暮らす飼い主は、結構ラクをさせてもらっています。こんなに大勢居るのに、外出にも仕事にもほとんど影響していないと思っていますが、トイレの掃除と抜け毛の掃除だけはラクじゃありません（泣）。

これだけは1日でもさぼると大変な事になります。写真の当時は床がループタイプのカーペットだったので、抜け毛はなかなか取れないし、爪研ぎでループはボロボロになるので、泣きたい気分でした。その後フローリングに替えて、掃除の手間が少なくなりホッとしています。

私は猫砂が苦手で、どんな砂を使ってもどうしても、少しは匂いが残るし、床にはいつも数粒転がっているしで、それが気になって仕方ありませんでした。そこで、最終的に思いついたのが、洋服をしまう時に使うプラ製の箱の底にペットシーツを敷いて、その上にさらに100円ショップの人工芝を敷くことでした。

猫はトイレの後に必ず周辺のどこかをカリカリ（というかホリホリ？）しますが、その時に「実感のようなもの」があれば、それで結構満足するみたいなのです。砂がシーツに代わっても人工芝の感触が砂みたいに思えるようで、用を足したあたりの周囲を2～3回爪で引っ掻いたら、終了です。難点は、ウンチがいつも丸見えになっていて、それが何だかあまりにも・・・なのですが。

最近では、ももちゃんが格子のカバーというか蓋がセットになった犬用のトイレでも満足するようになりました。格子＝人工芝の感触なのかも知れませんが、トイレの話になってしまいました。猫と気持ち良く暮らしたいと思ったら、トイレの話題は必須です（笑）。

## ネコラム 2

<http://p.booklog.jp/book/75504>

著者：夢ちか文庫

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yayoi-egawa/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/75504>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/75504>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ